

Marshall

Broadcast A/V Division



CV355-30X-IP

30X IP Zoom Camera

Operation Guide

日本語版

目次

1. 内容物.....	2
2. 機能紹介.....	2
2.1 I/O 機能紹介.....	2
2.2 タリ一表示灯機能説明	3
3. 設置手順.....	3
3.1 設置の基本.....	3
3.2 デバイスの接続	4
4. ネットワーク機能の設定	7
4.1 Web システム要件.....	7
4.2 カメラをネットワークに接続する.....	7
4.3 Web ページの機能説明	10
5. トラブルシューティング	22
保証.....	23

1. 内容物

このたびは Marshall 製品をご購入いただきありがとうございます。

CV355-30X-IP には、次のアイテムが含まれていることを確認してください。ご購入後はすぐに本体に損傷がないかなど製品が正常動作するかをご確認ください。損傷がある場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

番号	品名	数量
1	CV355-30X-IP(本体)	1
2	電源コード	1
3	電源アダプター	1
4	取扱説明書(本書)	1

2. 機能紹介

2.1 I/O 機能紹介



No.	アイテム	機能説明
1	レンズ	30 倍 HD カメラレンズ
2	タリーインジケータライト	カメラの状態を表示するタリーランプ
3	ネットワークポート	ネットワークポート PoE 給電対応のルーターまたはハブ(IEEE 802.3 af)に対応
4	3G-SDI 出力	工場出荷時の出力解像度は 1080P/60
5	HDMI 出力	HDMI 出力ポート
6	RS232 出力	RS232 出力ポート。シリアル接続では最大 7 台のカメラを接続できます。
7	RS232 入力	RS232 入力ポート。シリアル接続では最大 7 台のカメラを接続できます。
8	DC12V 電源 コネクター	AC 電源接続ポート
9	電源ランプ	電源オン後、インジケータライトは赤で表示されます。
10	音声入力	3.5mm オーディオ入力は、ラインレベルまたはマイクレベルのステレオ/モノラル入力に対応
11	音声出力	ループスルー3.5mm 出力
12	三脚用ネジ穴	カメラは(仕様)1/4"、20UNC 三脚デッキに装着。

2.2 タリー表示灯機能説明

VISCA コマンドの制御により、タリー表示灯機能を有効にすることができます。

設定方法は以下の通りです：

タリーモード：8x 01 7E 01 0A 01 0p FF

p = 0 : OFF

p = 4 : オン(半輝度)

p = 5 : オン(フル輝度)

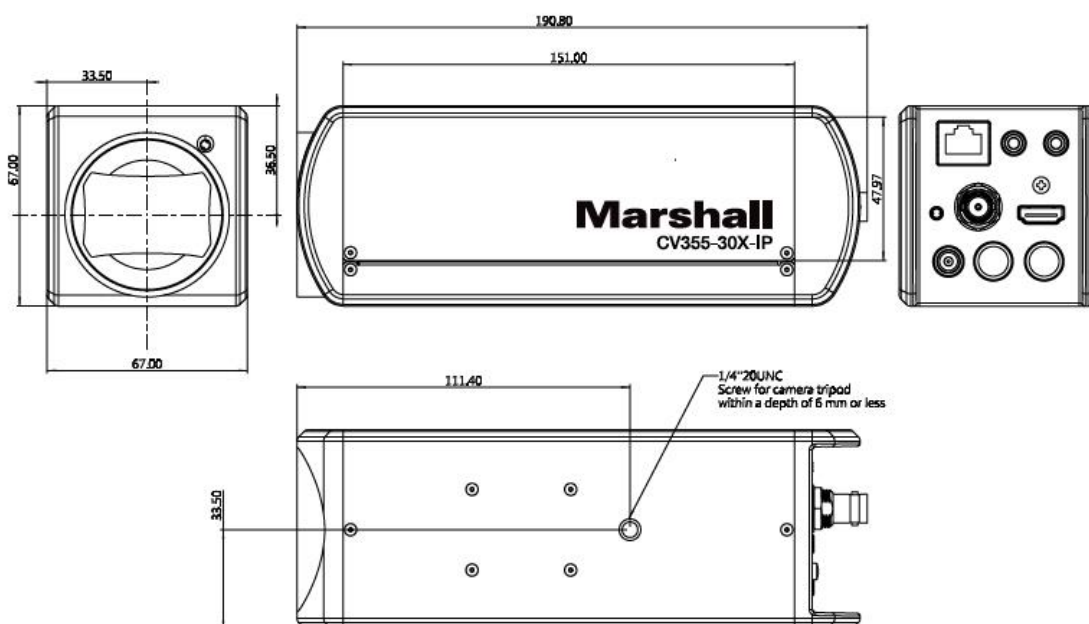
3. 設置手順

3.1 設置の基本

CV355-30X-IP の外形寸法

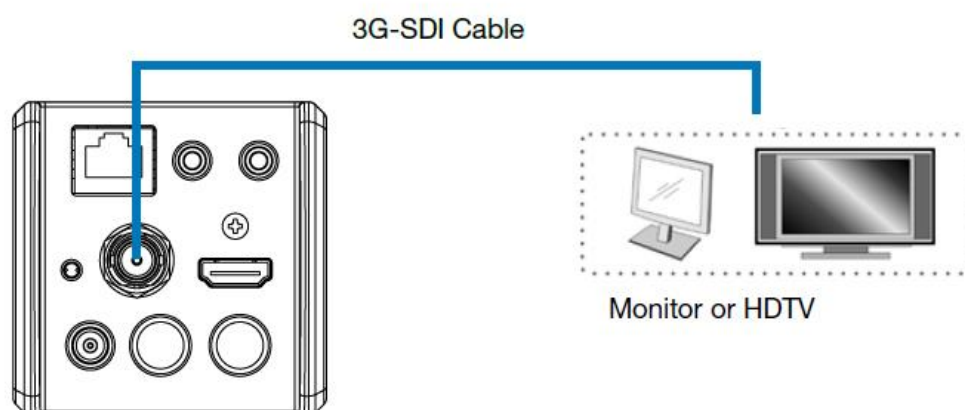
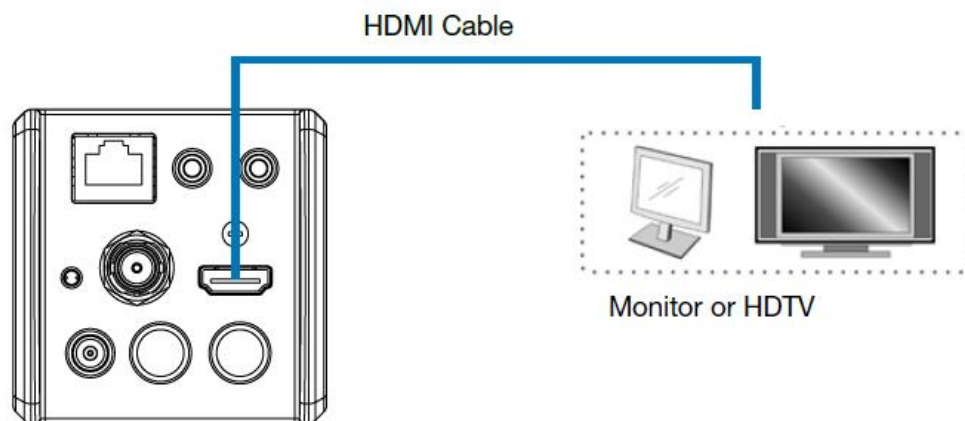
長さ x 幅 x 高さ：186.71 x 67.0 x 67.0 mm

重量：1 Kg



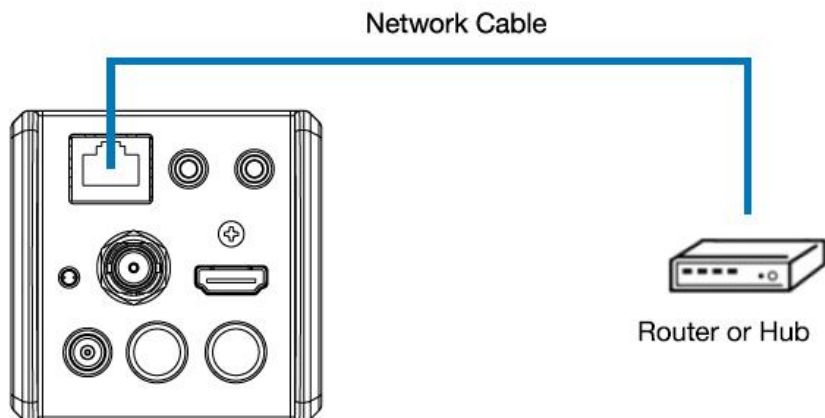
3.2 デバイスの接続

3.2.1. ディスプレイ、スイッチ、メディアへの HDMI 接続

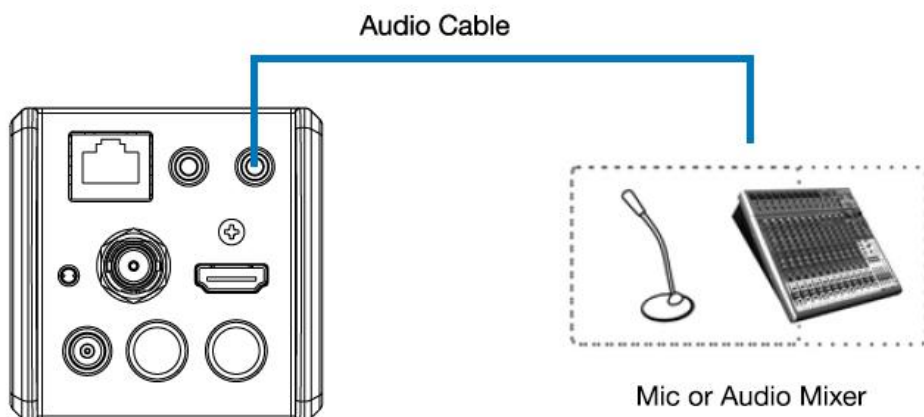


3.2.2. インターネットへの接続

Web ページの接続設定と説明の詳細については、「4. ネットワーク機能の設定」を参照してください。



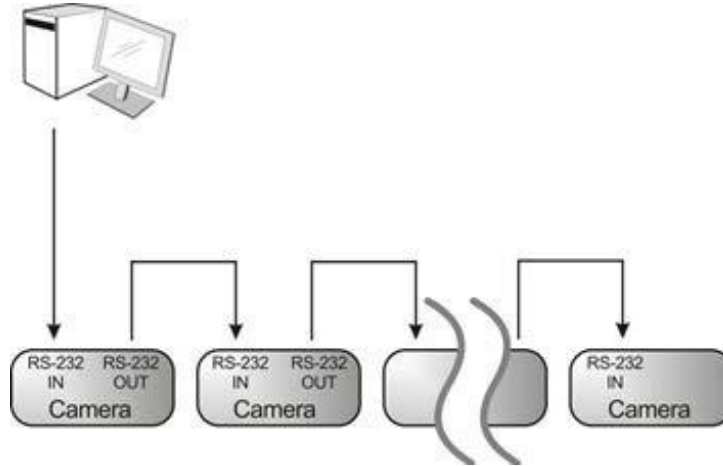
3.2.3. オーディオ入力を接続する



3.2.4. RS-232 の接続

- RS-232 シリアル接続

RS-232 入出力により、最大 7 台の Marshall カメラを接続できます。



- RS-232 ピン定義の説明

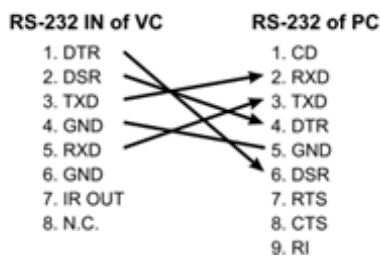
- ▼ RS-232 IN ピンの説明

NO	Pins	Signals
1	DTR	Data Transmission Reade
2	DSR	Data Set Reade
3	TXD	Transmit Data
4	GND	Ground
5	RXD	Receive Data
6	GND	Ground
7	IR OUT	IR Commander Signal
8	N.C.	No Connection

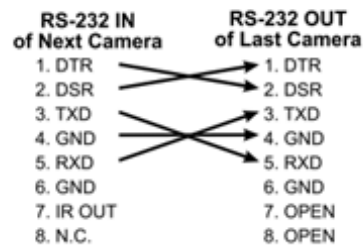
- ▼ RS-232 OUT ピンの説明

NO	Pins	Signals
1	DTR	Data Transmission Reade
2	DSR	Data Set Reade
3	TXD	Transmit Data
4	GND	Ground
5	RXD	Receive Data
6	GND	Ground
7	OPEN	Reserved
8	OPEN	Reserved

- ▼ RS-232 接続の説明



- ▼ RS-232 接続の説明



4. ネットワーク機能の設定

4.1 Web システム要件

Web ブラウザ:

- ・ Internet Explorer 11 以降
- ・ FireFox 66.0.3 以降
- ・ Chrome 73 以降
- ・ Edge 42.17134 以降
- ・ Safari 12.1 以降

4.2 カメラをネットワークに接続する

4.2.1. インターネットへの接続

一般的な 2 つの接続方法を以下に示します。

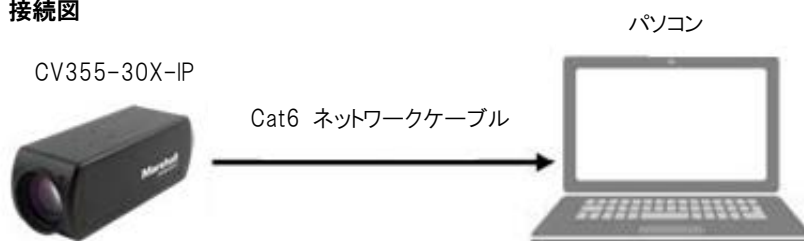
1. スイッチまたはルーター経由で接続します。



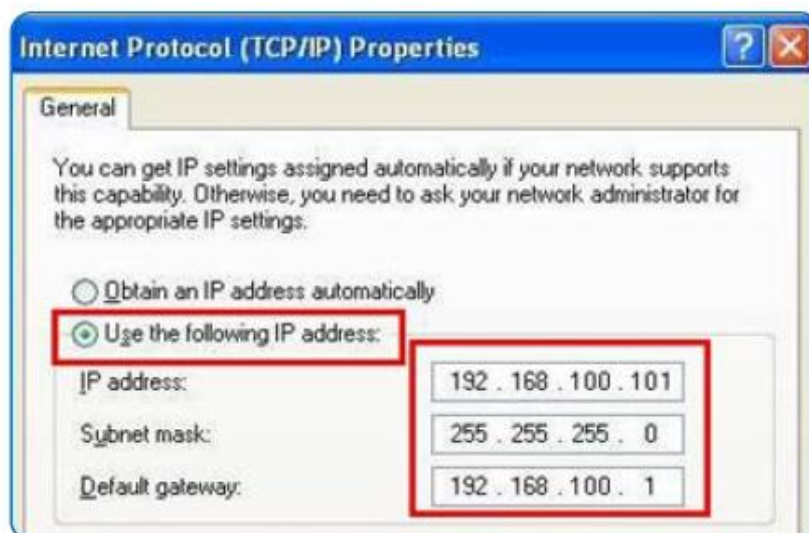
2. カメラがコンピュータに直接接続されている場合は、カメラと同じネットワーク セグメントを持つようにコンピュータの IP アドレスを変更する必要があります。

たとえば、CV355-30X-IP の工場出荷時のデフォルト IP アドレスは 192.168.100.100 です。コンピュータとカメラを正しく接続するには、コンピュータの IP アドレスを同じサブネット (192.168.100.101 など) に設定する必要があります。

● 接続図



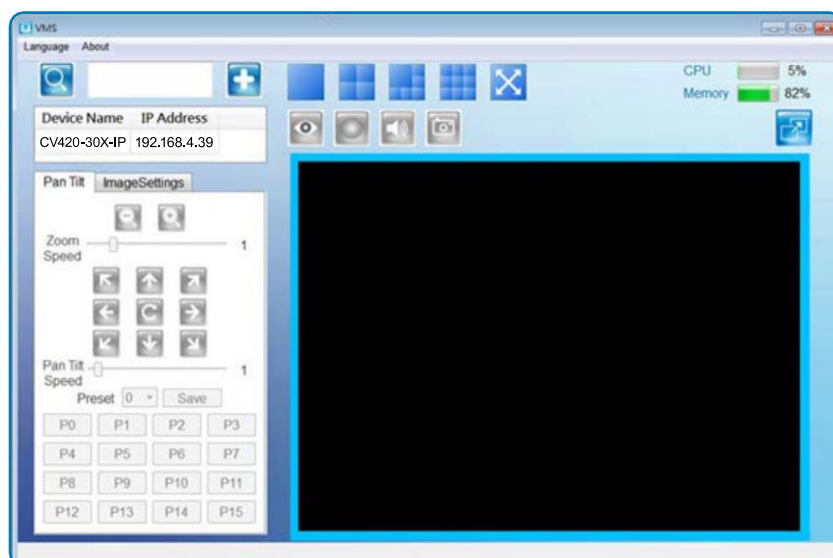
- ネットワーク設定を変更する



4.2.2. Marshall VMS ソフトウェアを使用して画像を表示する

- CV355-30X-IP の DHCP の初期設定は ON になっています。ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続されている場合、カメラの IP は次の方法で取得できます。
- Marshall VMS ソフトウェアをインストールします (Marshall 公式 Web サイト、www.marshall-usa.com からダウンロードしてください)。
 - Marshall VMS ソフトウェアを開く。
 - カメラの検索: [デバイスを自動的に検索] ボタンを押して、CV355-30X-IP カメラを見つけます。
 - リスト内の CV355-30X-IP をクリックし、ネットワークに接続した後、操作を開始します。

注: 自動検索を使用する場合、カメラとコンピュータは同じネットワーク セグメントに存在する必要があります。(例: 192.168.4.X)



4.2.3. ブラウザを使用して画像を表示する

- ブラウザを開き、IP アドレス バーに CV355-30X-IP の URL を入力します。
例: `http://192.168.100.100` (デフォルトの IP アドレス)
- 管理者のアカウントとパスワードを入力します。
アカウント: 管理者 (デフォルト)
パスワード: 9999 (デフォルト)



4.2.4. RTSP プレーヤーを使用して画像を表示する

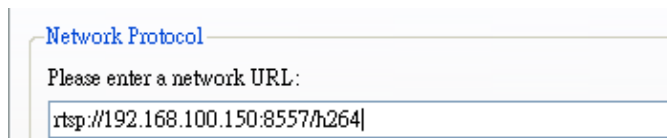
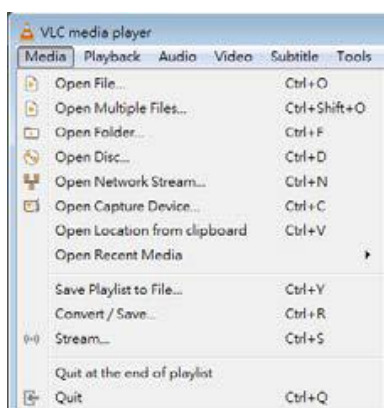
ブラウザと VMS 以外にも、RTSP 接続には次のような他のフリー ソフトウェアも使用できます。

VLC, Quick Time, PotPlayerR

RTSP 接続アドレスの形式は次のとおりです。

- ・ RTSP メイン ストリーミング (1080P@H.265) => `rtsp://カメラ IP:8554/hevcs`
- ・ RTSP Sub1 ストリーミング (1080P@H.264) => `rtsp://カメラ IP:8557/h264`
- ・ RTSP Sub2 ストリーミング (720P@H.264) => `rtsp://カメラ IP:8556/h264`

例: VLC ソフトウェアを開き、URL を入力します: `rtsp://192.168.4.48:8557/hevc`



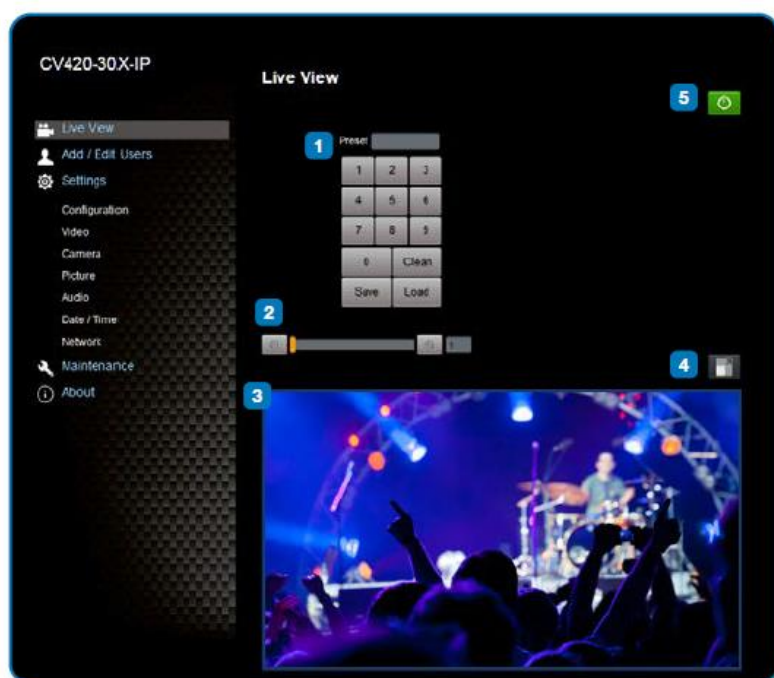
4.3 Web ページの機能説明

4.3.1. ログイン画面



No.	アイテム	機能説明
1	Username	ユーザーアカウント名を入力(デフォルト:admin)
2	Password	ユーザーパスワードを入力(デフォルト:9999)
3	言語選択	現在、システムは英語、繁体字中国語、簡体字中国語に対応しています。
4	パスワードを記憶	ユーザーアカウント名とパスワードをブラウザに保存します。
5	ログイン	ウェブサイトの管理者画面にログインします。

4.3.2. リアルタイムでの表示



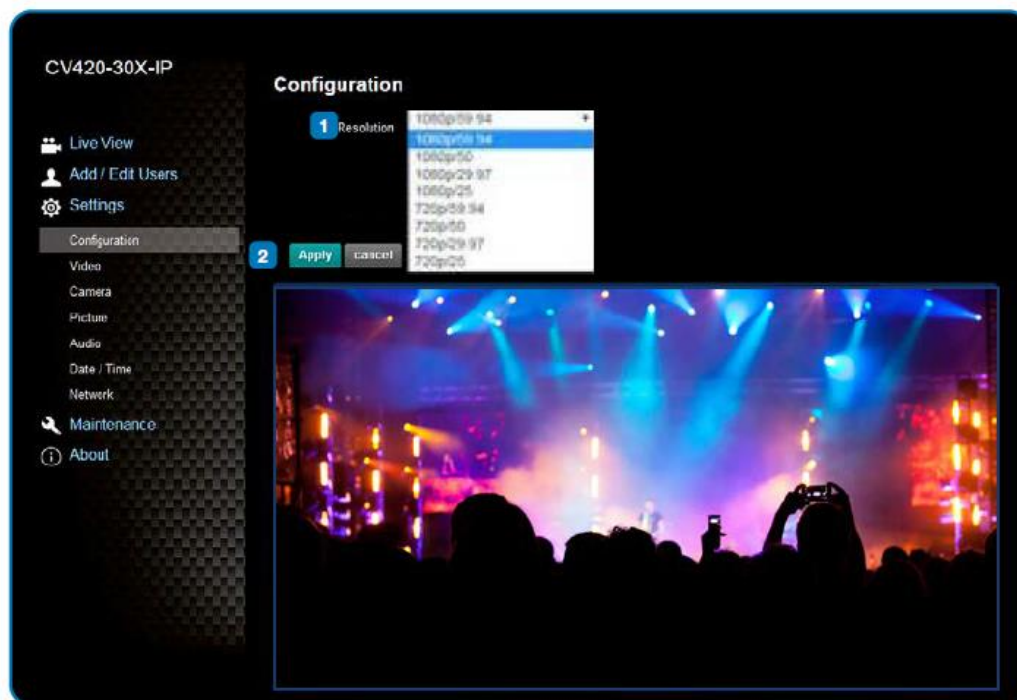
No.	アイテム	機能説明
1	プリセット設定	まず番号を選択し、SAVE または LOAD を選択します。
2	ズーム比	スクロールバーで拡大・縮小率を調整します。
3	プレビュー画面	カメラで撮影中の画面を表示します。
4	全画面に切り替え	プレビューウィンドウをフルスクリーンに切り替えます。
5	電源ボタン	カメラの電源をオンまたはオフにします。

4.3.3. アカウント管理



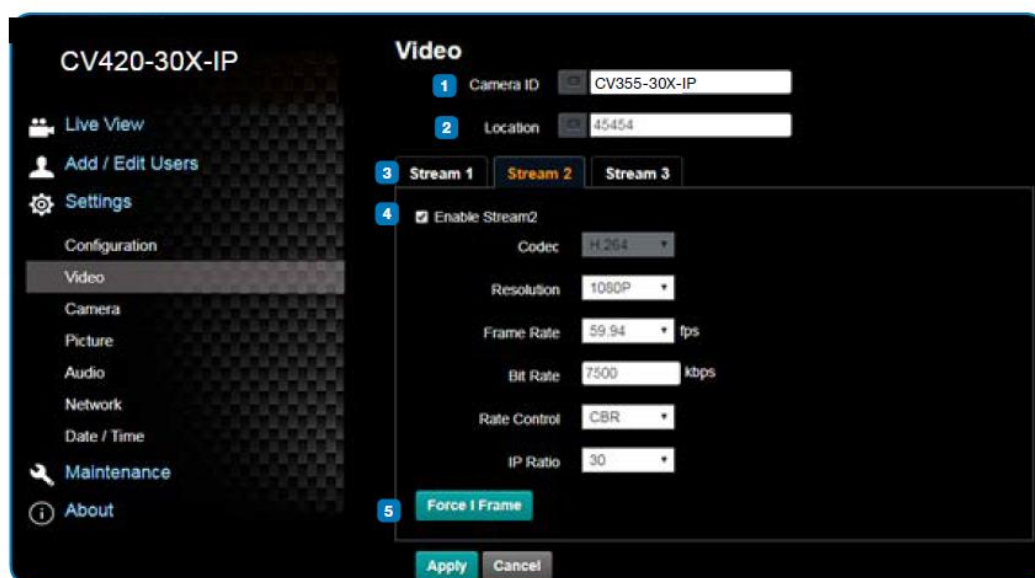
No.	アイテム	機能説明																
1	ユーザーアカウントの追加	ユーザー名とパスワードを入力して、新規ユーザーを追加します。																
2	パーミッションの設定	<p>新しいアカウント管理権限を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー種別</th> <th>管理者</th> <th>運営者</th> <th>視聴者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>画像を表示</td> <td>Y</td> <td>Y</td> <td>Y</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>Y</td> <td>Y</td> <td>N</td> </tr> <tr> <td>アカウント管理</td> <td>Y</td> <td>N</td> <td>N</td> </tr> </tbody> </table>	ユーザー種別	管理者	運営者	視聴者	画像を表示	Y	Y	Y	設定	Y	Y	N	アカウント管理	Y	N	N
ユーザー種別	管理者	運営者	視聴者															
画像を表示	Y	Y	Y															
設定	Y	Y	N															
アカウント管理	Y	N	N															
3	設定の適用	新しく作成したユーザーをアカウントリストに追加します。																
4	アカウント一覧	<p>編集: ユーザーパスワードと権限を変更します。</p> <p>削除: ユーザーアカウントを削除します。</p>																

4.3.4. システム構成



No.	アイテム	機能説明
1	Resolution	<p>カメラの解像度を設定します。カメラがサポートする解像度は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1080p/59.94 • 1080p/50 • 1080p/29.97 • 1080p/25 • 720p/59.94 • 720p/50 • 720p/29.97 • 720p/25 <p>解像度を切り替えた後、カメラが再起動します。ウェブサイト上に画像がない場合はブラウザを更新してください。</p>
2	Apply	設定を変更した後、このボタンを選択して設定を適用します。

4.3.5. ビデオ設定

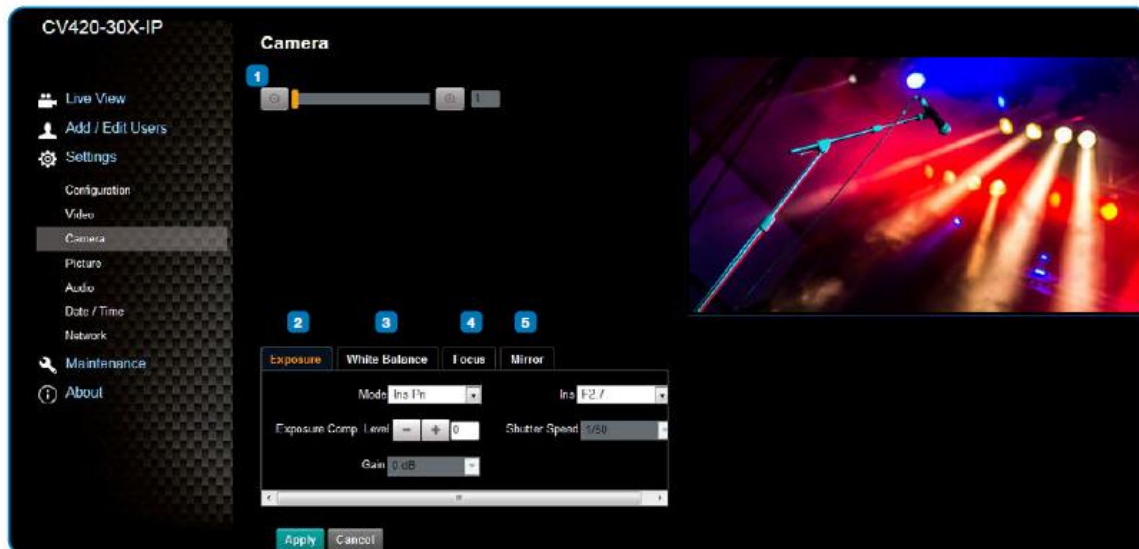


No.	アイテム	機能説明
1	カメラ名	カメラ名を変更します。 ・カメラ名は 1 ～ 12 文字に制限されています。 ・カメラ名は大文字、小文字、数字を混ぜて入力してください。 「/」や「スペース」などの特殊記号は使用しないでください。
2	カメラの位置	カメラの場所を変更します（会議室 1 など）。 ・カメラの位置は 1 ～ 12 文字に制限されています。 ・カメラ名は大文字、小文字、数字を混ぜて入力してください。 「/」や「スペース」などの特殊記号は使用しないでください。
3	Streaming 1 / Streaming 2 / Streaming 3	CV355-30X-IP は 3 つのストリーミング出力に対応します。関連する設定については、下記「ストリーミングパラメータの設定」を参照してください。
4	ストリーミングを有効にする	ストリーミング機能を確認します。
5	Force I Frame	チェックを入れると、指定したシリーズフローに IDR フレームを挿入し、その設定を適用します。ユーザーの設定が保存され、GUI インターフェイスに表示されます。

ストリーミングパラメータの設定

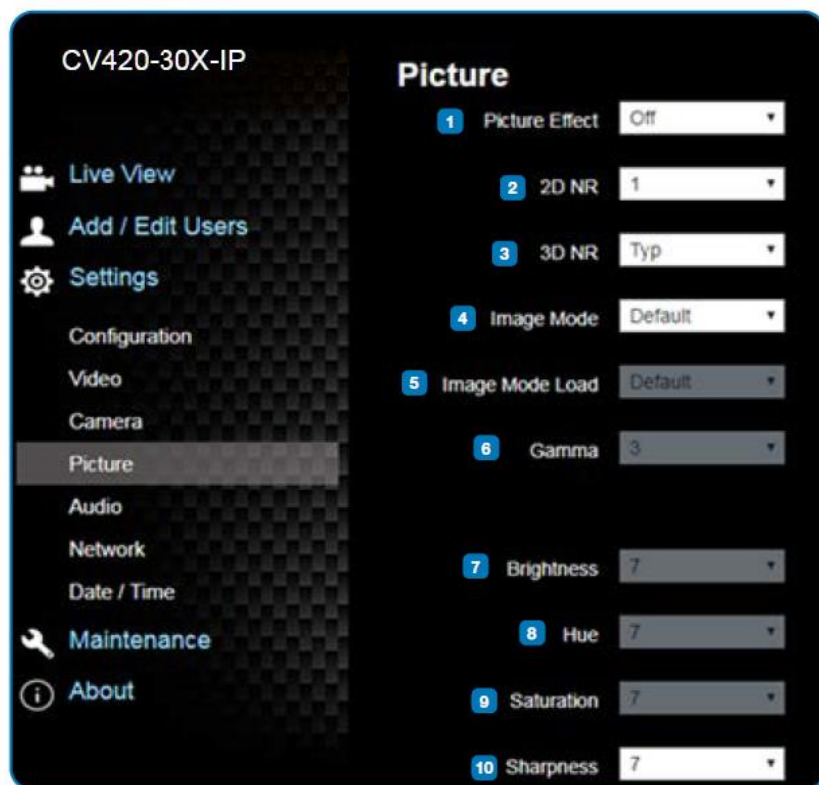
機能		Streaming 1	Streaming 2	Streaming 3
エンコード形式		H.265	H.264	
解像度		1080P / 720P		640 x 360
フレームレート		対応解像度に応じた設定		
ビットレート (kbps)	範囲	2,000～20,000	2,000～20,000	512～5,000
	工場出荷時の設定	7,000	7,000	1,000
レート制御		CBR / VBR		
IP 比率		対応解像度に応じた設定		

4.3.6. カメラの設定



No.	アイテム	機能説明
1	ズーム倍率	スクロールバーでズームインまたはズームアウトの比率を調整します。
2	Exposure	<ul style="list-style-type: none"> ● Mode: 露出モードを選択します（自動/シャッター優先/絞り優先/マニュアル）。 ● Exposure Comp. Level: 露出補正レベルを選択します ● Gain: 露出モードが「マニュアル」に設定されている場合、ゲイン制限を調整できます。 ● Iris: 露出モードが「マニュアル」または「絞り優先」に設定されている場合、絞りのサイズを調整できます。 ● WDR: ダイナミックな照明環境でより良い画像を取得するために、ワイドダイナミックレンジ（WDR）のレベルを設定します。 ● Shutter Speed: 露出モードが「マニュアル」または「シャッター優先」に設定されている場合、シャッタースピードを調整できます。
3	White balance	<ul style="list-style-type: none"> ● Mode: 色温度モードを選択します。 自動/屋内/屋外/ワンプッシュ WB/ATW/マニュアル/ナトリウムランプ ● Open Push Trigger: ホワイトバランスモードが「ワンプッシュトリガー」に設定されている場合、ワンプッシュで色温度を調整できます。 ● Manual Red/Blue: 青/赤の色温度を手動で調整します。
4	Focus	<ul style="list-style-type: none"> ● Mode: 手動/自動フォーカスを選択します。 ● Focus Range: フォーカスモードが「マニュアル」に設定されている場合、フォーカス範囲を調整できます。 ● AF Sensitivity: 自動フォーカスの感度を設定します。 ● AF Frame: 自動フォーカス範囲を設定します。
5	Mirror	<ul style="list-style-type: none"> ● Mirror: 画像をミラーリングおよび反転するモードを設定します。

4.3.7. 画像設定



No.	アイテム	機能説明
1	Picture effect	画像効果の設定, オフ/フィルム/白黒
2	2D NR 設定	2D ノイズリダクション設定
3	3D NR 設定	3D ノイズリダクション設定
4	Image mode	ユーザーは希望する画像モードをカスタマイズすることができます。
5	Image mode load※	カスタム設定が必要ない場合は、この項目を選択して画像パラメータを工場出荷時のデフォルトに戻します。
6	Gamma※	ガンマレベル調整。画像モードがカスタムに設定されている場合に調整可能。
7	Brightness※	明るさ調整。画像モードがカスタムに設定されている場合に調整可能。
8	Contrast※	コントラスト調整。画像モードがカスタムに設定されている場合に調整可能。
9	Saturation※	彩度の調整。画像モードがカスタムに設定されている場合に調整可能。
10	Sharpness※	画像のシャープネスを調整します。

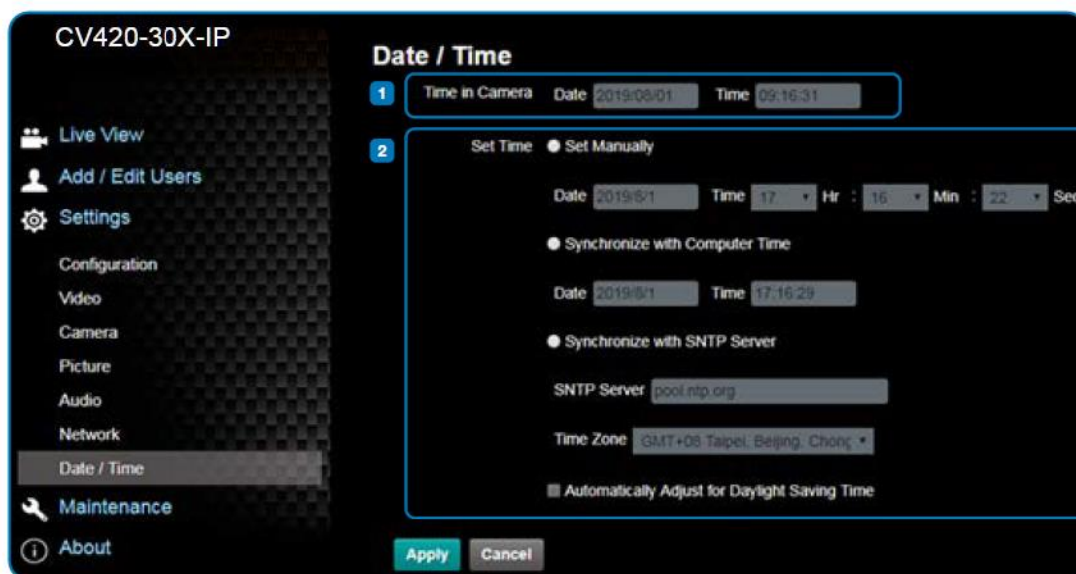
※画像モードがカスタムの場合のみ設定可能

4.3.8. カメラの設定



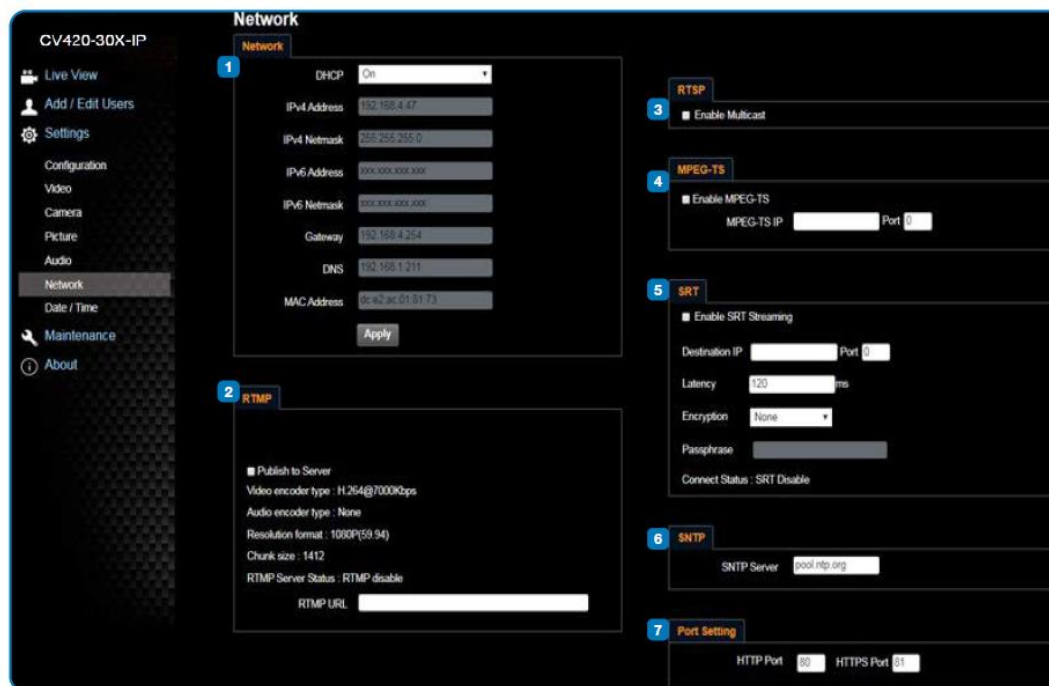
No.	アイテム	機能説明
1	オープンオーディオ	サウンドのオン/オフ
2	サウンドトラック効果の設定	マイク入力/ライン入力を設定。
3	Audio Volume	音量を調整。
4	Encode sample rate	エンコードサンプルレートを設定。 ・48KHz(AAC) ・44.1KHz(AAC) ・16KHz(G.711) ・8KHz(G.711)

4.3.9. 時刻設定



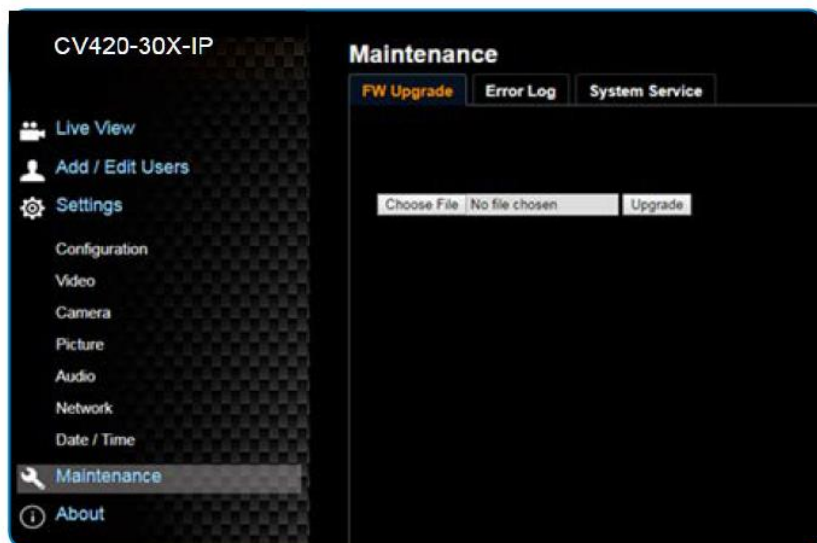
No.	アイテム	機能説明
1	カメラ時刻	カメラの日付と時刻を表示します。
2	時刻の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 手動で設定: 時間を手動で設定します。 ● コンピュータの時刻と同期: コンピュータの時刻に合わせてカメラの時刻を設定します。 ● SNTP サーバーと同期: カメラの時刻を SNTP サーバーと同期して設定します。 <p><備考> SNTP サーバーアドレス: ネットワーク設定で変更してください。</p>

4.3.10. ネットワーク設定



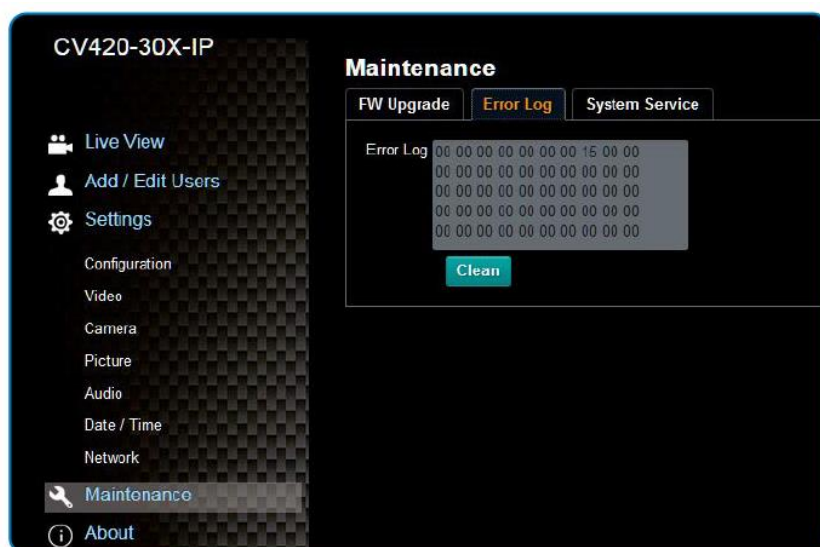
No.	アイテム	機能説明
1	Network	カメラのネットワーク設定。設定変更は DHCP 機能が終了している場合のみ可能です。
2	RTMP 設定	RTMP サービス プラットフォームから提供される RTMP Web アドレスをコピーし、RTMP 接続アドレスに貼り付けて、カメラ画像を RTMP サービス プラットフォームに公開します。
3	RTSP 設定	ライブストリーミングのために YouTube にアップロードするには、最初にオーディオ機能をオンにする必要があります。
4	MPEG-TS 設定	MPEG-TS フォーマットを設定します。 ポートは 1024 を超える範囲で設定する必要があり、最大値は 9999 です。次のポートはカメラによって使用されています。ポートの設定が正しく接続できない可能性があります。 8554、8556、8557、8080、9090、1935
5	SRT 設定	<ol style="list-style-type: none"> SRT のフィールドを設定し、STR ストリーミングを開く項目にチェックを入れます。SRT ストリーミングが開かれると、起動時に自動的に接続されます。 ポート番号は 1024 を超え、最大値は 9999 の範囲で設定する必要があります。次のポートはカメラによって使用されています。ポートの設定が正しく接続できない可能性があります。 8554、8556、8557、8080、9090、1935 遅延時間は 20 ~ 8000 マイクロ秒です。デフォルト値は 120 マイクロ秒です。
6	SNTP 設定	SNTP サーバー IP の設定
7	Port 設定	HTTP ポートを設定します。デフォルトのポート値は 80 です。 <備考> 設定変更はカメラの DHCP 機能が終了している場合のみ可能です。

4.3.11. メンテナンスとファームウェアの更新



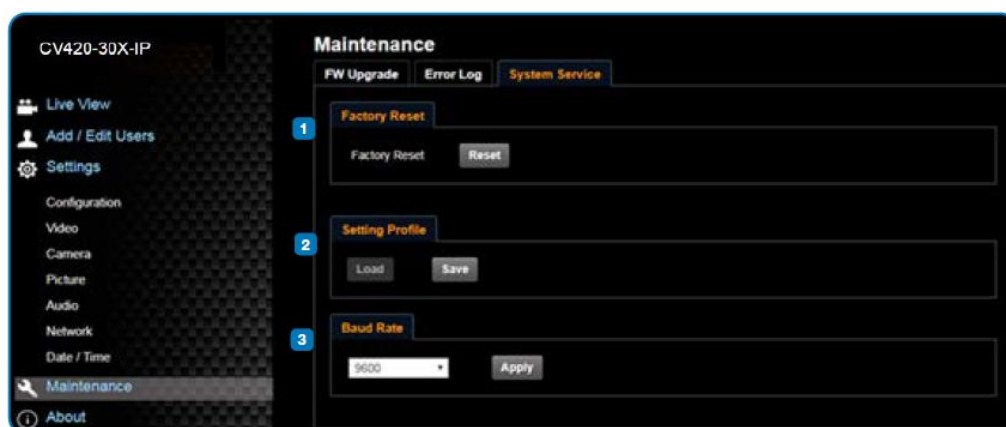
No.	アイテム	機能説明
1	ファームウェアのアップデート	カメラのファームウェアは Web ページ経由でアップグレードできます。アップグレード方法については、Marshall Web サイトよりFW アップグレードマニュアルをダウンロードしてください。

4.3.12. インシデント/エラーログ



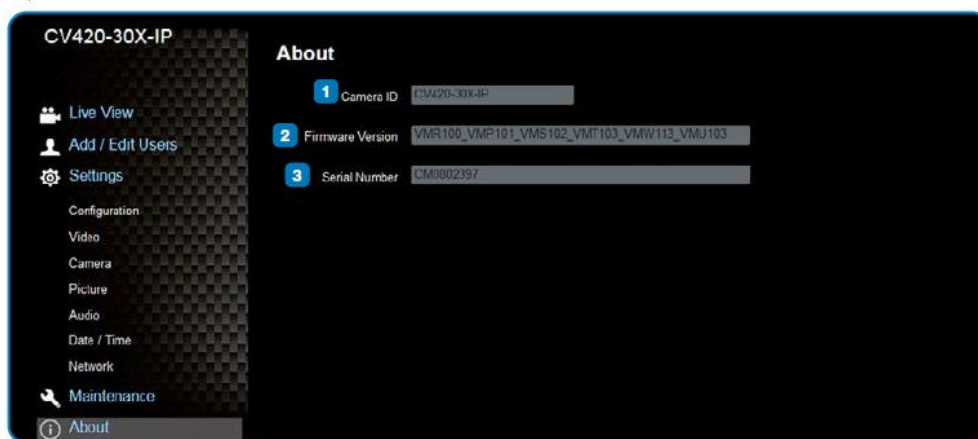
No.	アイテム	機能説明
1	エラーログ	カメラでエラーが発生した場合、エラーコードのログが作成されます。

4.3.13. 追加のメンテナンス設定



No.	アイテム	機能説明
1	Factory Reset	リセット ボタンを選択すると、Web ページの設定が工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
2	Setting Profile	Web ページの設定パラメータをパソコンからエクスポートし、他のカメラに インポート/適用 することができます。
3	Baud Rate	RS-232 通信の接続に使用するカメラのボーレートを設定します。

4.3.14. 概要



S

No.	アイテム	機能説明
1	Camera ID	カメラ名を表示します。
2	Firmware Version	カメラのファームウェアバージョンを表示します。
3	Serial Number	カメラのシリアル番号を表示します。

5. トラブルシューティング

この章では、CV355-30X-IP の使用中に遭遇する可能性のある問題について説明します。ご不明な場合は、関連する章を参照し、提案されたすべての解決策に従ってください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

No.	アイテム	機能説明
1	電源信号なしで起動	<ol style="list-style-type: none">1. 電源コードが接続されていることを確認します。2. PoE 接続を使用する場合は、電源装置が IEEE 802.3af ハブに対応していることを確認してください。
2	CV355-30X-IP から画像が出力されない	<ol style="list-style-type: none">1. 電源または PoE 供給機能を確認します。2. 出力信号がストリーミング出力であることを確認します。3. カメラがモニターに接続されている場合は、モニター機器が 4K 出力に対応していることを確認します。4. ケーブルを交換し、ケーブルに欠陥がないことを確認します。
3	CV355-30X-IP の画像が大幅に遅延する	25/30 Hz 信号ではなく、4K、1080p または 720p 60/50 Hz 信号を使用してください。
4	RS-232 が制御できない	<ol style="list-style-type: none">1. 接続が正しいことを確認します (RS-232 入力/出力)。2. ポーレート設定が制御機器と同じであることを確認してください。
5	インターネットを使用している操作	インターネットの使用方法については、「4. ネットワーク機能の設定」の説明を参照するか、国内サポート窓口にお問い合わせください。

保証

Marshall CV355-30X-IP 30X IP ズームカメラは、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から1年間は無償修理保証の対象となります。

この保証はご購入者様のみ適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。

シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。

この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、変更または修正は、この保証を無効にします。販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、マーシャルエレクトロニクスに代わって保証期間を延長することはできません。

製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。

保証期間内でも以下の場合には有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

誤った使用方法や、不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。

落下などによる故障、損傷。

火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

日本国内サポート窓口

Marshall

BROADCAST & PRO AV

株式会社 M&Inext Marshall 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

<http://marshall-japan.com/>

contact@minext.jp

2023年11月30日